

# 宮農・担い手

10月18日、宮農・担い手専門委員会と青年農業者・山形大学農学部学生との交流事業が行われました。

当日は天候にも恵まれ、青年農業者3人、大学生16人、委員等20人が参加し、青年農業者が関わる施設の見学と現地視察を行いました。

最初に見学した加賀山雄氏（播磨）が受託する実証圃場では、鶴岡バイオガスパワー（再生可能エネルギー発電所）から出る発電余剰熱による農業用ハウス加温実験が行われていました。温水ヒーターによる加温栽培でミニトマトが栽培されコストも低く抑えられ、甘くおいしいトマトが収穫されていました。今後の利用方法では、大きな期待が持てそうです。冬は青こごみを栽培しているとのことでした。次に、鈴木俊将氏（中京田）のきくらげのハウス栽培を見学しました。経営規模を拡大し、生食と加工用で販路を広げ、今は白いきくらげも生産していま



鈴木俊将氏のきくらげハウス

加賀山雄氏が受託する実証ほ場



た。自ら商談に出向き、現在は輸出も行い、食品コンクールでは優秀賞を受賞して頑張っている青年農業者でした。

その後、第三学区コミセンに会場を移して意見交換会が行われ、視察先である青年農業者への質問や大学生の農業に対する思いや考え方を聞くことができ、貴重な時間となりました。引き続きの情報交換会も楽しく過ごすことができました。（専門委員会委員長 石川守）

# 専 門 委 員 会 活 動 報 告

## 食育・地産地消

10月23日、栄保育園で、食育・地産地消専門委員会の食育教室が行われました。

平成24年度から継続している食育教室も、幼少期から適切な食を学び、お米に慣れ親しんでもらいたいという思いのもと、7回目の実施となりました。今回は委員18人が参加し、栄保育園の年長・年中の18人の園児を対象ににぎり教室を行いました。

委員による自己紹介の後、初めにお米に関する話をするため、園児たちは真剣なまなざしで聞き入っていました。また、お米をとぐ体験や、ガラス鍋でお米が炊ける様子の観察してもらい、炊きあがりの香りも体感してもらいました。その後はおにぎり作りに挑戦。最初は戸惑いながらも少しずつ慣れていき、「もっとやりたい！」と楽しんでいる様子が見られました。ごはんまつわる絵本と紙芝居の読み聞かせの後は、農業委

つやつやひめひめつやひめ〜♪  
さめてもおいしいつやひめ〜♪



きもちいい〜!

員会オリジナルの「つや姫体操」を園児たちと一緒に踊り、自分たちで作ったつや姫おにぎりの給食を皆でいただきました。つや姫体操のアンコールや歌のプレゼント、帰り際には一人ひとりと握手やハイタッチをするなど、楽しく交流を図りました。専門委員会で継続してきた活動の成果が見て取れるような有意義な食育教室となりました。（専門委員会委員長 萩原優太）